

「未来を拓く学力」の向上事業

教学指導課

1 学カスパイラルアップ事業

(1) 授業改善のためのPDCAサイクルの再構築（右図）

全国学力・学習状況調査の自校採点を一層推進し、PC調査と関連させて早期に学力実態を把握するとともに、子どもの学力の定着を強化するために、3つのチェックの実施により、授業改善の取組を評価・改善するサイクルを再構築する。

(2) 総合的な学習の時間における探究的な学びの充実

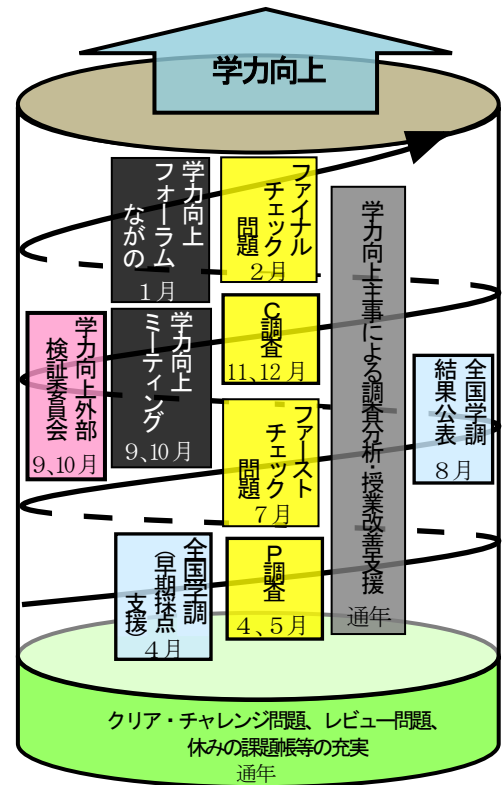
総合的な学習の時間のカリキュラムや題材開発を支援する仕組みをつくとともに、総合的な学習の時間における探究的な学びについて、学力向上推進情報やホームページで情報提供し、授業改善を促進する。

(3) 授業DVDによる研修の充実

各種学力調査でみられた課題について、確かな定着を図る授業改善の実践研究の成果を授業DVDにまとめて研修で活用できるようにし、校内研修や研修講座を充実させる。

(4) 「学力向上フォーラムながの」の開催

学力向上に係る講演や実践発表、パネルディスカッション等を通して、各学校や市町村教育委員会の意識の向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学び、家庭学習、ICT活用、総合的な学習の時間等についての先進的な情報を全県で共有する。



2 理数教育充実事業

(1) S1グランプリ 2017、中学生サイエンスグランプリの開催

算数・数学の問題作成・解決や理科の問題解決を通して、児童生徒の理数の伸びる力を一層伸ばす。

(2) 観察・実験出前講座、一流講師に学ぶ中学校理科の実験実技講習会の開催

観察・実験の講習会を通して、教員の理科の専門性を向上させ授業改善につなげる。

3 学力格差解消に向けた補充的な学習サポートモデル構築事業

地域の方による部活動指導を行うことにより、部活動顧問等が補充的な学習サポートにあたる時間を確保する仕組みづくりを進める。

4 信州教育の学びの基盤づくり推進事業

学習指導要領の改訂に際し、児童生徒に、時代に必要となる資質・能力を育成するための学習指導についての理解を深めるとともに、長野県として目指す授業を明らかにして授業改善を進める。

5 平成29年度予算額 654万1千円